

混合交通を観察する
DOCUMENT EYE

135

法制化から丸1年、チャイルドシートの使用状況は?

昨年(2000年)の4月1日より、幼児(6歳未満)をクルマに同乗させる際は保安基準および発育の程度に適合したチャイルドシートの使用が義務付けられた。警察庁交通企画課のデータによると、平成12年のチャイルドシート装着率は44.0%で、前年比24.7%増とチャイルドシート装着率は大幅に増加している。一方で、平成12年中における6歳未満

WHY

法制化から丸1年、チャイルドシートの使用状況は?

昨年(2000年)の4月1日より、幼児(6歳未満)をクルマに同乗させる際は保安基準および発育の程度に適合したチャイルドシートの使用が義務付けられた。警察庁交通企画課のデータによると、平成12年のチャイルドシート装着率は44.0%で、前年比24.7%増とチャイルドシート装着率は大幅に増加している。一方で、平成12年中における6歳未満



助手席に装着したチャイルドシートに座る幼児

観察地点 / 千葉県松戸市二ツ木 国道6号・二ツ木交差点 付近の大型商業施設駐車場入口
観察日 / 4月1日(日曜日)
天候 / 快晴
観察時間 / 10:10 ~ 11:10
観察者 / 4名

チャイルドシートの使用状況を観察する
法制化から丸1年、チャイルドシートを装着していた幼児130人中53人

の千葉県松戸市二ツ木交差点付近。ホームセンターやファーストフード店・玩具店・ファミリーレストランなど大型の複合商業施設が建ち並んでいる。観察は、これらの商業施設内の駐車場に進入するクルマのうち、6歳未満と見られる幼児を乗せているクルマについて行なった。

観察の結果、幼児を乗せていたクルマは合計で111台、幼児は130人だった。別表のようにチャイルドシートを使用していたのは、130人中53人(助手席18人、後部座席35人)で、装着率は40.8%だった。

チャイルドシートを使用していた幼児は、おとなしく外を見ていたり寝ていたりして同乗者もリラックスしていた印象だ。一方、チャイルドシート未使用の幼児は64人。後部座席から前席に身を乗り出したり、後部座席で立った状態で兄弟で遊んでいる例も見かけた。チャイルドシートは装着されているのだが、幼児がただ座っているだけで肩や腰にベルトが掛けられていなかったり、チャイルドシートが装着されているのにこれを利用せず、母親らしき女性が幼児を膝に抱っこして



WATCHING

後部座席から前に身を乗り出したり、車内で立って遊んでいる幼児も

の幼児の自動車乗車中における死傷者数は1万1166人(死者数26人、負傷者数1万1140人)と前年より1985人増加している。法制化から丸1年、春休み最後の日曜日にチャイルドシートの使用状況を観察した。

観察場所は国道6号(水戸街道)沿い

幼児(6歳未満)のチャイルドシート使用状況(車両111台・乳幼児130人中)

		助手席	後部座席	小計	計
着用	チャイルドシート	18	35	53	66
	シートベルト	12	1	13	
非着用		64		64	64

幼児の年齢は観察者の推定

いた例もあった(9例、うち7例が助手席側)。

このほかベビーベッドを利用していた幼児が2名で、うち1名のベビーベッドはベルトで固定されているように見られず、後部座席の上にただ置いていただけのようだった。急ブレーキをかけたらずくに床に落ちそうで、非常に危険に感じられた。

シートベルトを着用している幼児もみられたが、その大半は、ベルトの部分が首にかかっており、非常に危険と思われる。ジュニアシートを使う必要がある。

PROPOSE

チャイルドシートは交通社会人への第一歩

今回観察したクルマの中には車内にチ



チャイルドシートを使用せず、前に身を乗り出す幼児

チャイルドシートを置いてあるだけというおもちゃ同然の扱いをしているクルマがあった。法律施行から1年、TVコマーシャルなどチャイルドシート装着に対する啓発活動自体も落ち着いてしまったが、もう一度チャイルドシートの重要性を考え直したい。また、観察場所は、習志野や野田などの近隣ナンバーが目立つなど近所への移動にクルマを利用しているように感じた。レジャーに行く時と比べて近場の運転ではチャイルドシートを使用しない傾向のデータ(社)日本損害保険協会調べもあがるが、たとえ近所への移動であってもチャイルドシートは必ず装着する習慣を身につけてほしい。子どもの安全を守るのには親の義務である。購入したから、クルマに装着したから安心するのではなく、子どもの安全のために「交通社会人の第一歩はチャイルドシート」という自覚を親がもち、チャイルドシートの正しい装着を徹底したい。